

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹

第2820例会 2024/05/20

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2024/05/27

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史

私の娘は大学生で、空手部に所属しています。小学校のとき空手を習い、その後私立の中高一貫校に入って通学が大変でやめたのですが、大学で再開しました。その空手を習ったのも、私立の学校へ行ったのも理由があります。

私の家はさいたま市でも辺鄙なところにあるのですが、そういう場所は治安に問題があったり学校が荒れがちで、護身のためや、地元の学校に行きたくないという本人の希望でそうになりました。

過去、近所の土地が売りに出されるたびに色々な人たちが越してきましたが、その中に小さなお兄ちゃんと妹がいる4人家族がいました。幸せそうに暮らしていたのですが、ある日お母さんがいなくなり、しばらくして新しい奥さんがやってきました、それからよく兄妹の泣き声が聞こえるようになり、寒い夜外に立たされていたり、荷台に乗せてもらえず自転車の後を走らされたりしていました。ある日私の妻が、近くのコンビニでお兄ちゃんが万引きするのを見たといいました。その後様子をうかがっていると、店を離れた場所で妹にお菓子を食べさせていたそうです。それから妻は、後妻の人に見つからないように兄妹によくお菓子を食べさせていましたが、その子たちは結局祖父母に引き取られていきました。この時は大きなケガなどの事態にはなりませんでした。虐待の末に子どもが亡くなるケースもあり、実の親に殺されることもあります。子どもは本能的に、親というのは最後まで自分の味方だと思っているのではないのでしょうか。その親に殺される子どもは、死の間際にどれほどの絶望を味わうのでしょうか。それほど非道なことであるにもかかわらず、児童虐待の刑は軽いように感じることもあります。日本は儒教の影響で、尊属・卑属の考え方があり、以前は親を殺す「尊属殺人」は死刑または無期

懲役のみという、極めて重い刑とされていました。しかし、それが変わるきっかけとなった事件があります。中学生のときから実の父親に性的暴行を受け続け、5人の子を産まされ、夫婦同然の生活を強いられていた女性が、ようやく相思相愛の男性が現れ結婚しようとしたところ、監禁・暴行を受け、ついに父親を殺してしまったという事件です。しかし、親子二代にわたる弁護士の努力により、この事件への尊属殺人罪の適用は憲法違反と認められ、その後も適用されなくなり、ついになくなりました。女性の家は貧しく、弁護報酬はカバン一杯のじゃがいもだけだったそうですが、それでも女性を実刑にしないよう努力した理由は、あまりにも可哀想だったからだと言います。12月の例会でお呼びした聖路加国際病院小児科医の小澤先生が「この国の政治はもっと子どもの方を向いて欲しい」と言っていました。が、児童虐待に関しても、児童相談所の人員不足など国として改善すべき点はいくらでもあるように思うのですが、その実現にはきっと時間がかかるだろうと思います。しかしそんな中でも、この国の未来そのものである子どもたちを、皆で守り、皆で育てていくために、いま我々にもできることはないだろうか? そんなことを学び、考える。今日の例会がそんな契機になることを願います。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

風岡 淳一 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 認定 NPO 法人 児童虐待防止全国ネットワーク 理事長 吉田 恒雄様
- カンボジアたくみ日本語学校 校長 今井 巧様 CEO Hor Vatey (ホール ヴッタイ) 様
- 国際ロータリー第 2770 地区第 3 G パストガバナ 補佐/次年度地区社会奉仕部門委員長 吉田 耕之様 (大宮シティ RC)

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

